

定例記者懇談会次第

令和8年1月30日(金) 午後1時15分
牧之原市役所榛原庁舎5階 庁議室

1 開 会

2 市長説明

- ◇ 「田沼家ゆかりの名刀お国帰りプロジェクト」の第二目標金額達成 資料なし
について
- ◇ 市出身のパラスノーボーダー「坂下恵里」選手について 資料1
- ◇ 「東名相良牧之原IC北側地区における新たなまちづくり」 資料2
について
- ◇ 竜巻災害に係る山梨県内の応援市町への御礼訪問について 資料3
- ◇ 令和7年度甲州市宿泊キャンペーンの実施について 詳細は「4 報道提供」にて
- ◇ 富士山静岡空港について 資料5
- ◇ 中部電力浜岡原子力発電所の不適切事案に関する住民説明会 資料なし
について

3 質疑応答

4 報道提供

- ◇ 令和7年度甲州市宿泊キャンペーンの実施について 資料4
- ◇ 男女の生涯健康セミナーの開催について 資料6
- ◇ 令和7年度男(ひと)と女(ひと)のフォーラムの開催について 資料7
- ◇ 「蛭ヶ谷の田遊び」「一幡神社の御榊神事」の開催について 資料8
- ◇ 牧之原市・白河市「友好記念御城印セット」の販売について 資料9
- ◇ 道の駅での「波乗りレモンフェア」の開催について 資料10

5 懇 談

6 閉 会

〈次回の記者懇談会〉

令和8年2月25日(水) 午後1時15分～



市出身のパラスノーボーダー「坂下恵里」選手について

3月6日からイタリアで開幕する「ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック冬季競技大会」のスノーボード競技において、勝間田区出身のパラスノーボーダー「坂下恵里」選手が日本代表として出場することが決定しました。

市では、懸垂幕を設置するとともに、次のとおりパブリックビューイングを行い、同選手を応援します。

1 選手概要

ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック冬季競技大会
女子スノーボード競技
【スノーボードクロス】
【スノーボードバンクドスラローム】
日本代表 坂下恵里選手（牧之原市勝間田区出身）



2 プロフィール

- ・1992（平成4）年5月4日、牧之原市勝間田区生まれ。
- ・実家は茶農家。
- ・榛原中学校から池新田高校までは、ソフトボール部（投手）に属し、最高は県大会ベスト8。
- ・都内の専門学校を卒業後、映像制作会社で撮影クルーとして働いていた 2015年12月、事故により左ひざ下切断による下肢障がいを負う。
- ・「2021年全国障がい者スノーボード選手権」優勝。2025年W杯4位。現在、パラスノーボードの『SB-LL2 クラス』（ひざより下の切断や麻痺がある比較的程度の軽い下肢障がい）で世界ランキング9位。
- ・身長 159 センチ。
- ・長野県在住。
- ・三菱オートリース株式会社所属。

3 パブリックビューイング（予定）について

別紙のとおり

4 問い合わせ

坂下恵里選手牧之原応援団 絹村 智昭 電話：090-8677-3810

ミラノ・コルティナパラリンピック2025冬季競技大会【スノーボードクロス】【スノーボードバンクドスラローム】

坂下恵里選手（勝間田出身）出場種目パブリックビューイング開催（予定）について

メイン会場					
日時（日本時間）	競技種目	場 所	参加者 (定員)	内 容	対象者等
3月7日(土) 19:00～ (予定)	スノーボードクロス 【予選】	さざんか (ふれあいホール)	200人	<ul style="list-style-type: none"> ・スノーボードクロス予選の中継を大型テレビで応援観戦 ・参加無料・事前申込不要 ・放送詳細：不明 (地デジ・BS・ネット配信等、日本パラリンピック委員会に確認中) 	どなたでも ・応援団 ・市民 等
3月8日(日) 19:00～ (予定)	スノーボードクロス 【決勝】	さざんか (ふれあいホール)	200人	<ul style="list-style-type: none"> ・スノーボードクロス決勝の中継を大型テレビで応援観戦 ・参加無料・事前申込不要 ・放送詳細：不明 (地デジ・BS・ネット配信等、日本パラリンピック委員会に確認中) 	どなたでも ・応援団 ・市民 等
3月14日(土) 18:00～ (予定)	スノーボード バンクドスラローム 【予選】【決勝】	さざんか (ふれあいホール)	200人	<ul style="list-style-type: none"> ・バンクドスラローム予選及び決勝を中継大型テレビで応援観戦 ・参加無料・事前申込不要 ・放送詳細：不明 (地デジ・BS・ネット配信等、日本パラリンピック委員会に確認中) 	どなたでも ・応援団 ・市民 等

東名相良牧之原 IC 北側地区における新たなまちづくりについて

市では、東名相良牧之原 IC 北側地区において、魅力ある新たな都市拠点の形成を推進している。

牧之原市 IC 北側土地区画整理組合（理事長：鈴木芳明）が施行する牧之原市 IC 北側土地区画整理事業の造成工事が完成し、次のとおり大和ハウス工業株式会社（代表取締役社長：大友浩嗣）に保留地を売却した。

今後、同社、土地区画整理組合、市の三者は、連携、協力して、新たなまちづくりに取り組んでいく。

1 保留地売買契約の締結

令和 7 年 12 月 15 日に保留地売買契約を締結し、土地区画整理組合から同社に土地の引渡しを実施した。

2 対象保留地（別紙「保留地図」参照）

5 画地 面積：115,200.76 m²

3 建築計画（別紙「大和ハウス工業プレスリリース」参照）

大和ハウス工業株式会社は、IC 北側地区内において、商業施設、ホテル、店舗・販売店、産業施設等の建築を計画している。

4 今後のまちづくりについて

市は、土地区画整理事業によって創出された 1 号公園 (4,761.78 m²) 及び 2 号公園 (2,100.20 m²) の整備、相良・榛原市街地や富士山静岡空港と接続するバスターミナルの設置、商業施設内等における魅力ある空間の形成等を計画している。

5 東名相良牧之原 IC 北側地区の開発について

（1）主な経緯

平成 27 年 3 月	市総合計画に「輝く高台開発プロジェクト」として位置付け 相良牧之原 IC 北側開発に係る地区協議会の開催（～現在）
5 月	静岡県内陸（ふじのくに）フロンティア推進区域の指定
平成 28 年 6 月	東名高速道路相良牧之原 IC 周辺地区整備構想策定
平成 29 年 2 月	牧之原市 IC 北側土地区画整理準備組合設立
平成 29 年 4 月	牧之原市 IC 北側整備事務所開設（牧之原市東萩間 2595-11）
平成 31 年 1 月	静岡県農業振興地域の区域変更（農用地の除外） 都市計画用途地域の指定（第一種低層住居専用地域・第一種住居地域）
令和 2 年 1 月	（仮称）牧之原市 IC 北側土地区画整理事業に関する業務協定の 締結【大和ハウス工業株式会社、土地区画整理準備組合、市】
令和 5 年 1 月	牧之原市 IC 北側土地区画整理組合設立（静岡県知事認可） 【保留地処分先：大和ハウス工業株式会社、事業代行先：清水 建設株式会社、資金借入先：島田掛川信用金庫】

3月 牧之原市ＩＣ北側土地区画整理事業に関する業務協定の締結
【大和ハウス工業株式会社、土地区画整理準備組合、市】

6月 東名相良牧之原ＩＣ北側開発に係る地区説明会の開催

12月 土地区画整理事業造成工事 安全祈願祭

令和 6年 7月 住宅街区造成工事完成
住宅街区使用収益の開始（仮換地の引渡し）

令和 6年 8月 都市計画用途地域の変更（近隣商業地域・準工業地域・第一種
住居地域）、ＩＣ北側地区計画の決定

令和 6年 11月 住宅街区における保留地売買契約の締結、引渡し

令和 7年 8月 商業・産業街区造成工事完成
9月 土地区画整理事業造成工事 竣工式

12月 商業・産業街区使用収益の開始（仮換地の引渡し）
商業・産業街区における保留地売買契約の締結、引渡し
完成した公共施設（道路、公園、調整池等）の管理を市に引継ぎ

（2）土地区画整理事業の概要

ア 事業名称 牧之原市ＩＣ北側土地区画整理事業

イ 施行者 牧之原市ＩＣ北側土地区画整理組合（理事長 鈴木芳明）

ウ 事業目的 東名相良牧之原ＩＣ北側地区において「陸・海・空」の広域交通の
結節点にふさわしい新たな賑わい拠点を形成し、産業振興や雇用の
場の確保、定住人口の増加を実現する、将来のまちづくりを展開する

エ 組合員数 29人（組合設立時113人）

オ 施行地区 牧之原市東萩間地内 22.59ha (225,900.06 m²)

カ 施行期間 令和5年1月から令和10年3月まで

キ 整備内容

(ア) 宅 地	187,294.99 m ²
(イ) 商業・産業街区	167,460.39 m ²
・住宅街区	19,834.60 m ²
(ウ) 道 路	20,438.69 m ²
・14m道路	5,009.92 m ²
・11m道路	4,615.61 m ²
・9m道路	5,085.64 m ²
・8m道路	651.48 m ²
・6m道路	4,960.92 m ²
・4m道路	115.12 m ²
(エ) 公 園	2,304.3m
・延長	343.1m
・512.9m	524.3m
・80.2m	815.0m
・28.8m (特殊道路)	
(オ) 調整池	2,304.3m
・1号調整池	343.1m
・512.9m	524.3m
・80.2m	815.0m
・28.8m (特殊道路)	
(カ) 墓地等	2,304.3m
(キ) 水道管	2,304.3m
・放流管	343.1m
・512.9m	524.3m
・80.2m	815.0m
・28.8m (特殊道路)	
(ア) 公園	40t 1基
(イ) 調整池	40t 1基
(エ) 墓地等	17,450 m ³
(カ) 水道管	3,380 m ³
(キ) 放流管	153.4m (第1調整池) 106.6m (第2調整池)

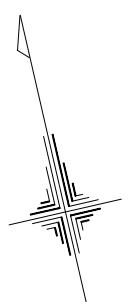
1-105
(67.04)1-109
(62,093.50)5-1
(8,364.25)6-1
(10,750.19)1-108
(33,925.78)

第1号公園

第1号調整池

凡 例	
	仮換地
	保留地

S=1:2,000 (A3)



2026年1月30日

報道関係各位

大和ハウス工業株式会社
牧之原市

●商業施設や産業・物流施設などで構成する複合開発プロジェクト

「(仮称) MAKINOHARA HILLS PROJECT～地域との共生・賑わい場の創出計画～」始動

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：大友 浩嗣、以下「大和ハウス工業」）と静岡県牧之原市（市長：杉本 基久雄）は、大和ハウス工業が2026年2月※より本格的に開発に着手する「(仮称) MAKINOHARA HILLS PROJECT～地域との共生・賑わい場の創出計画～」において、企業誘致などに連携して取り組みます。

なお、本プロジェクトは、大和ハウス工業が2025年12月までに取得した「牧之原市IC北側土地区画整理事業」の保留地等（約17.14万m²）を、商業施設区画（2区画）、産業・物流施設区画、戸建住宅区画として全4区画開発する予定で、2030年冬頃に全体の完成を予定しています。

※戸建住宅区画は2025年12月より着工。



【左側：商業施設外観イメージパース 右側：商業施設区画・産業・物流施設区画イメージパース】
※実際の施設とは異なる場合があります

大和ハウス工業は、工業化建築のパイオニアとしての技術力、多様な事業用施設で培ったノウハウとコンサルティング力、大規模団地の分譲で培われたデベロッパーとしての企業力を活かし、これまで全国各地で工業団地や産業団地の開発を手掛けてきました。

牧之原市は2015年より、本地区において「陸・海・空」の広域交通ネットワークを活かした新たな拠点形成を目指し、「東名相良牧之原IC北側開発」に着手。賑わいや雇用の場の創出、定住人口の増加を図るため、新たなまちづくりを推進してきました。

そのような中、両者と「牧之原市IC北側土地区画整理事業組合」は、2023年3月「牧之原市IC北側土地区画整理事業に関する業務協定」を締結。このたび大和ハウス工業が、地域の新たな賑わい創出に向け、本プロジェクトを始動することとなりました。

本プロジェクトは、国道473号沿いに位置し、東名高速道路「相良牧之原インターチェンジ」から約300mと広域物流の中継物流拠点として高い利便性を備えています。また、国際空港「富士山静岡空港」から約8km（車で約9分）、「御前崎港」から約20km（車で約20分）と陸・海・空路の物流インフラが充実しているため、国内はもとより、海外輸送にも適しています。あわせて、国内外の来訪者もアクセスが容易なため、多面的な価値創出が期待される立地です。

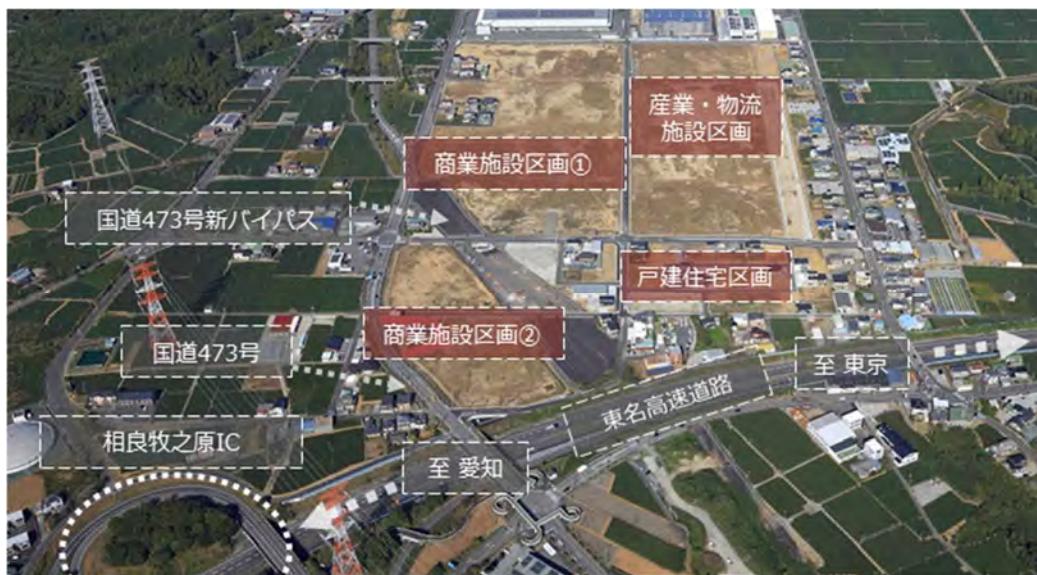
今後両者は、地域社会との共生を図るとともに、持続的な雇用創出を生むために連携し「(仮称) MAKINOHARA HILLS PROJECT～地域との共生・賑わい場の創出計画～」の開発を進めてまいります。

■スケジュール

- 2015年3月 牧之原市総合計画に「輝く高台開発プロジェクト」として位置付け
2016年6月 「東名高速道路相良牧之原IC周辺地区整備構想」策定
2017年2月 「牧之原市IC北側土地区画整理準備組合」設立
2018年9月 「牧之原市IC北側土地区画整理事業」一括業務代行予定者に
大和ハウス工業が候補者として決定
2023年1月 「牧之原市IC北側土地区画整理組合」設立
2023年3月 「牧之原市IC北側土地区画整理組合」、大和ハウス工業、牧之原市の3者が
「牧之原市IC北側土地区画整理事業に関する業務協定」を締結
2025年12月 大和ハウス工業が全保留地（商業施設区画、産業・物流施設区画、戸建住宅区画）
を取得
2025年12月 戸建住宅区画着工
2027年冬頃 商業施設区画着工予定
2028年春頃 産業・物流施設区画着工予定
2030年冬頃 全体完成予定

■プロジェクト概要

- 所在地 : 静岡県牧之原市東萩間地内
交通 : 東名自動車道「相良牧之原インターチェンジ」から約300m
開発面積 : 約171,437 m² (約51,859坪)
内訳 商業施設区画① : 約81,389 m² (約24,620坪)
商業施設区画② : 約19,113 m² (約5,781坪)
産業・物流施設区画 : 約66,519 m² (約20,122坪)
戸建住宅区画 : 約4,416 m² (約1,336坪)
用途地域 : 近隣商業地域・準工業地域・第一種住居地域
建物用途 : 商業施設、ホテル、産業・物流施設、戸建住宅
事業主 : 大和ハウス工業株式会社
総工期 : 2025年12月～2030年冬（予定）



【開発全景】

●大和ハウス工業 社長 大友 浩嗣のコメント

本プロジェクトの開発を開始するにあたり、「牧之原市 IC 北側土地区画整理組合」ならびに牧之原市をはじめ、関係各位に多大なるご支援とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。当社は地域の皆さんと連携し、地域活性化などに貢献できるよう、新しいまちづくりに取り組んでまいります。

●牧之原市 市長 杉本 基久雄のコメント

牧之原市において、大和ハウス工業が新たなプロジェクトを開始されますことを、心より歓迎するとともに、深く感謝申し上げます。

本市は、「陸・海・空」の広域交通の結節点という強みを生かし、同社との連携のもと、本プロジェクトが定住人口の拡大や地域経済の活性化につながるよう、魅力あふれるまちづくりを力強く推進してまいります。

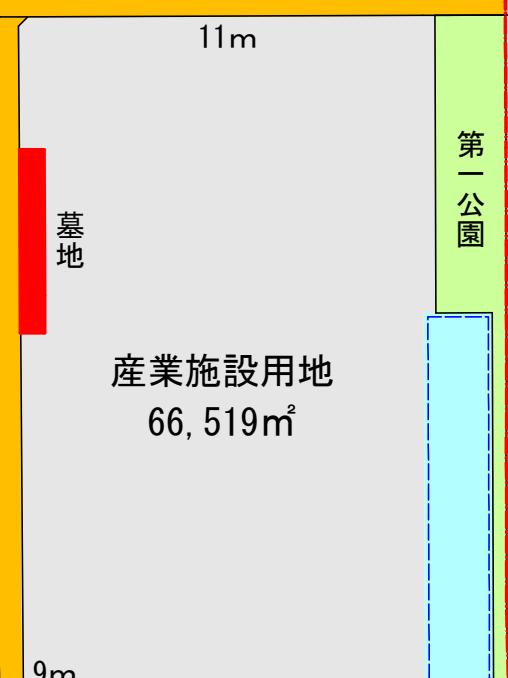
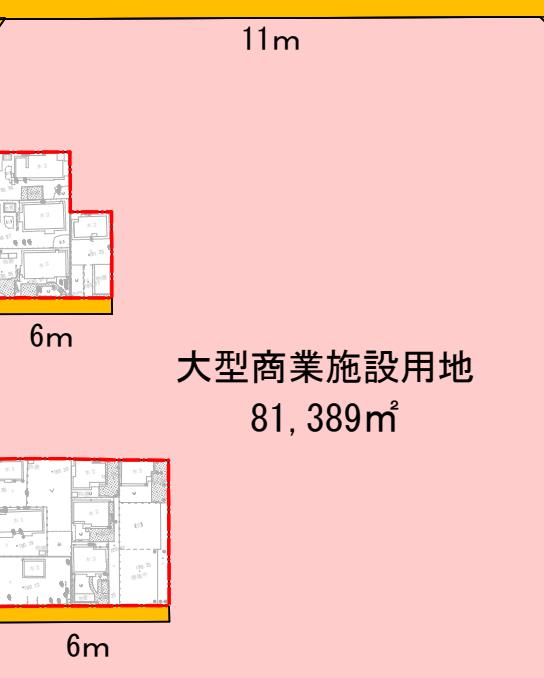


【位置図】

以上

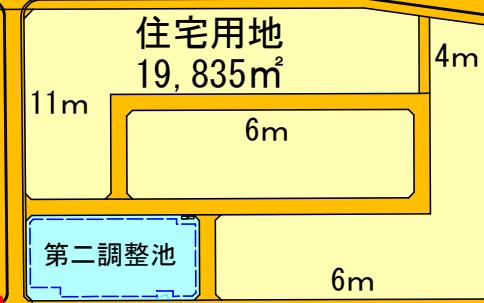
お問い合わせ先			
大和ハウス工業 広報企画部	東京広報グループ	03-5214-2112	
牧之原市役所 建設部	新拠点整備室	0548-23-3333	

牧之原市IC北側土地区画整理事業
土地利用計画構想図



第一公園

第一調整池



放流管
 $L=110m$



放流管
 $L=165m$

牧之原市

東松園

竜巻災害に係る山梨県内の応援市町への御礼訪問について

1 概要

「令和7年牧之原市台風15号に伴う竜巻等災害」において、災害協定または原子力災害広域避難計画で広域避難先となっている山梨県内の市町のうち、当市への災害対応業務支援のために職員派遣をしていただいた、山梨県内の6市町に対し、牧之原市長による御礼の訪問をする。

2 日時

【令和8年2月19日(木)】

甲州市(午前11時～)・中央市(午後2時～)・山梨市(午後4時30分～)

【令和8年3月23日(月)】

昭和町(午前11時～)・甲府市(午後1時30分～)・甲斐市(午後3時30分～)

3 支援の内容

市町名	支援の期間	派遣延べ人数	支援業務
中央市	9/15～9/21	4人	住家被害認定業務
甲斐市	9/21～9/28	2人	住家被害認定業務
甲州市	9/21～9/28	2人	住家被害認定業務
昭和町	9/30～10/7	2人	住家被害認定業務
山梨市	9/30～10/7	2人	住家被害認定業務
甲府市	9/30～10/7	2人	住家被害認定業務

4 応援市町との協定等の状況

市町名	災害協定等
中央市	・災害協定 平成24年2月1日締結 ・原子力災害時広域避難計画避難先
甲斐市	・災害協定 平成24年2月1日締結 ・原子力災害時広域避難計画避難先
甲州市	・観光交流に関する協定 令和6年9月7日締結 ・原子力災害時広域避難計画避難先
昭和町	・災害協定 平成24年2月1日締結 ・原子力災害時広域避難計画避難先
山梨市	・原子力災害時広域避難計画避難先
甲府市	・原子力災害時広域避難計画避難先

令和7年度 甲州市宿泊キャンペーンの実施について

1 概要

令和6年度に牧之原市と山梨県甲州市は、人とモノの相互交流を強化し、今後の市内の発展に寄与することを目的に、観光交流協定を締結した。

その一環として、甲州市にある温泉宿泊施設組合と連携し、牧之原市民が甲州市の宿泊施設を利用する際、宿泊費の一部を当市が助成することで、甲州市を知る機会の提供と人の更なる交流促進を図る。

2 期間

令和8年2月1日(日) チェックインから

3月31日(火) チェックアウトまで

※予算上限に達し次第終了【先着50人】

3 助成対象者

牧之原市民で山梨県塩山温泉郷の対象宿泊施設に宿泊する者

※日帰り利用者は対象外。

4 助成内容

1人あたり1泊につき、3,000円分の宿泊費助成券1枚を配布する。

(宿泊施設で使用可能)

※1人あたり宿泊費3,000円以上が対象。

宿泊費は、素泊まりや1泊朝食付などの基本料金。

5 対象宿泊施設

塩山温泉郷宿泊事業者（4施設を予定）

6 助成方法

- 利用者は、塩山温泉郷の対象宿泊施設に予約を行うと同時に、宿泊開始予定日1週間前までに「甲州市宿泊キャンペーン利用券交付申請書」を牧之原市へ提出する。
- 牧之原市が、利用者へ宿泊費助成券を配布する。
- 対象宿泊施設は、利用料金から助成金の額を差し引いた金額を利用者へ請求する。
- 温泉宿泊施設組合は、利用者を一覧表にまとめて牧之原市へ提出し、助成額を請求した後、各宿泊事業者へ助成額を配分する。

富士山静岡空港（道の駅定額タクシー）について

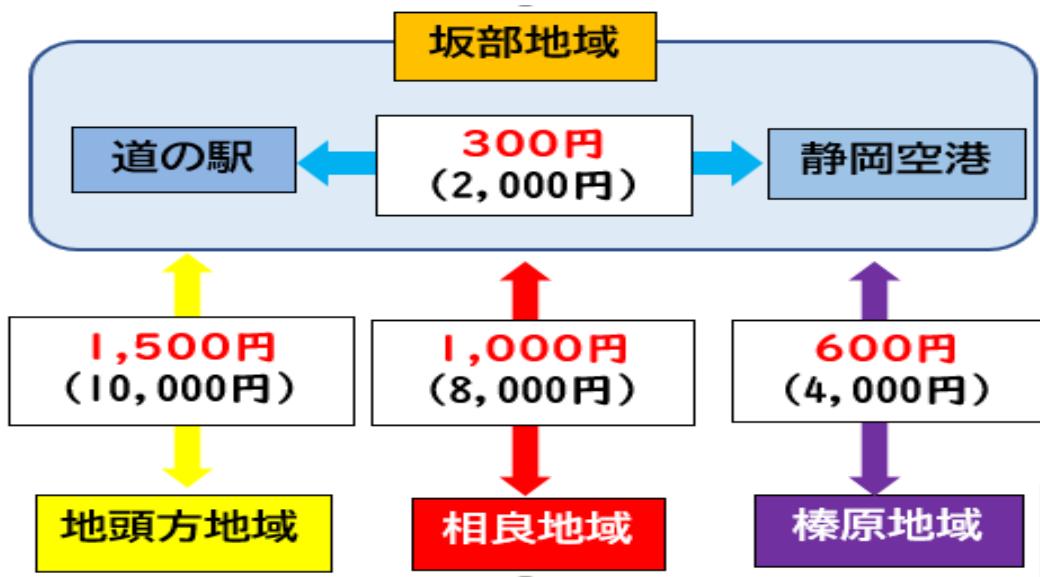
1 目的

富士山静岡空港では、国内線の順調な回復と国際線の復便や新規就航により、コロナ禍前の賑わいを取り戻しつつある。そのような中で、インバウンドの観光客は静岡空港到着後、バスでJR駅へ移動してしまい、空港と市内をつなぐ二次交通がないこともあり、空港の賑わいを市内へ波及させることができていないことが、開港以来、市の課題となっている。

そこで、静岡空港からの誘客と市民の空港及び道の駅「そらっと牧之原」へのアクセス改善を目的に、空港・道の駅の定額タクシーの運行を令和7年10月から実施している。

2 事業内容

- (1) 事業名：静岡空港・道の駅定額タクシー運行事業
- (2) 運行開始日：令和7年10月3日
- (3) 利用実績：令和7年10月3日から12月31日
→利用台数：128台(10月:59台、11月:24台、12月:45台)
- (4) 対象者：観光客及び市民（制限なし、誰でも利用可能）
- (5) 日・便数：指定なし（いつでも利用可能）
- (6) 利用可能区間 ※発着点の両方またはいずれかが空港・道の駅が対象
 - ア 空港・道の駅～市内
 - イ 空港～道の駅
- (7) 利用方法：タクシー事業者へ電話予約
 - 市民：前日までの予約（榛原：東海タクシー、相良：御前崎タクシー）
 - 観光客：空港、道の駅発の場合はいつでも予約可能（東海タクシー）



※()内の金額は通常のタクシーのメーター運賃の目安

富士山静岡空港 道の駅そらっと牧之原 定額タクシー



2025.10.3 FRI

START

定額料金で、
市内のどこからでも、
富士山静岡空港や道の駅そらっと牧之原に
タクシーで行くことができます。

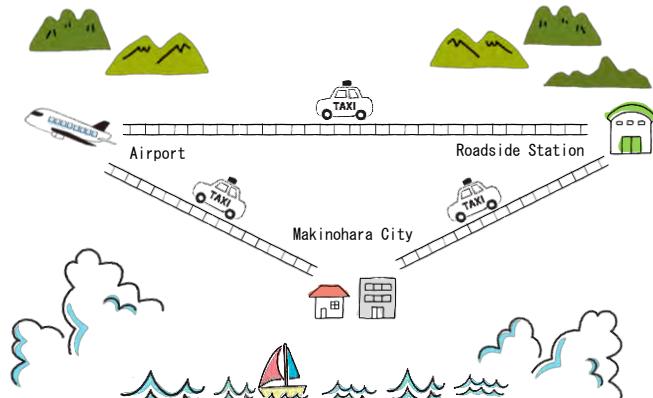


【問い合わせ先】 牧之原市役所 地域振興課

TEL : 0548-23-0053 (平日 8:15~17:00)

※タクシーの予約はタクシー会社（裏面連絡先）へお願いします。

▼ 定額タクシー詳細 ▼



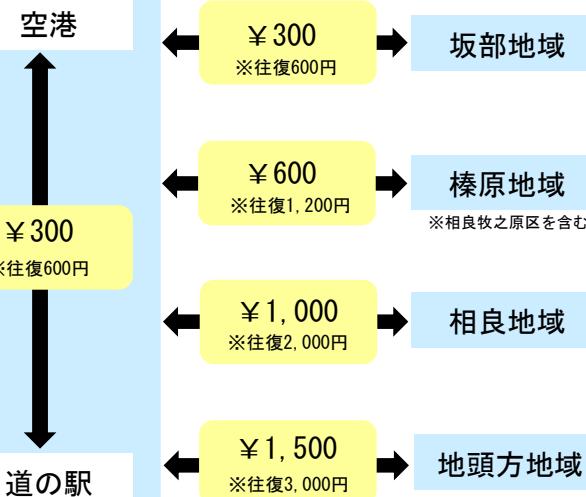
定額タクシーは
誰でも利用可能！

足を運びやすい
定額運賃！

ご自宅やお店など、牧之原市内のどこからでも富士山静岡空港または道の駅そらっと牧之原に定額料金で行くことができます。また、空港・道の駅間の移動も可能です。

▼ ご利用料金 ▼

ご利用になる地域によって料金が異なります。
表示は片道の料金です。

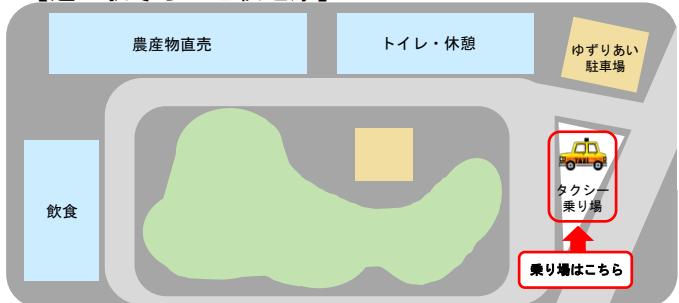


▼ 乗降場所 ▼

【富士山静岡空港】



【道の駅そらっと牧之原】



▼ ご利用方法など ▼

定額タクシーをご利用になる際は、以下のタクシー会社にご連絡ください。

▶ 東海タクシー(0548-22-0288) ▶ 御前崎タクシー(0548-63-2655)

- | | |
|---------------|-----------|
| ■ 榛原地域で乗降する場合 | → 東海タクシー |
| ■ 相良地域で乗降する場合 | → 御前崎タクシー |
| ■ 空港・道の駅発の場合 | → 東海タクシー |

※予約が混みあっていたり、ご指定いただいた時間に配車が間に合わない場合は、ご予約をお断りすることがあります。

※各社の営業時間内にご予約をお願いします。

【牧之原市在住の方へお願い】

市内↔空港・道の駅を利用する場合は、より多くの方が定額タクシーを利用できるよう、**前日までのご予約をお願いします。**

男女の生涯健康セミナーの開催について

1 目的

当市は急速な少子化が進み、出生数は年々減少している。この要因のひとつに高齢出産や不妊治療の増加があり、妊娠出産適齢期やホルモンサイクル、プレコンセプションケア（妊娠前からの健康管理）についての知識の欠如が考えられる。

また、不妊をはじめとするホルモンの心身や生殖機能への影響は、女性だけの問題ではなく、男性にも存在する。国は、健康日本21（第三次）の新たな視点の一つに「女性の健康」を項目立て、性差に着目した取組を新しいポイントとしている。身体的な性差について相互理解を深めることが必要不可欠だが、その機会が少なく、市民全体で男女の健康を考える機会が必要である。

また、行政、地域、企業等関係機関が連携し、性差を問わず多様性を生かした更に活躍できる地域づくりを目指す。

2 日時

令和8年3月8日（日） 午後1時～午後5時（開場：午後0時30分）

3 場所

相良総合センター「いへら」

4 内容

（1）医療講演会

座長：あかほりクリニック 産婦人科医 赤堀 彰夫 先生

・講演①「女性の健康とプレコンセプションケア」

講師：聖隸健康サポートセンターShizuoka 所長 鈴木 美香 先生

・講演②「男性の健康について～意外に知らない男性不妊や男性更年期～」

講師：SRHクリニック 院長 今井 伸 先生

（2）健康づくり体験コーナー

①ヨガ体験コーナー

講師：まある助産院 助産師 深澤 知美 先生

②健康コーナー

・健康チェック（骨密度、貧血、血管年齢） 協力：杏林堂薬局

・カルシウムたっぷりお楽しみ試食 協力：健康づくり食生活推進協議会

・姿勢チェックコーナー（シンコースポーツ）

・医療用ウィッグ貸し出し紹介等 協力：NPO はぴねす

・共催企業コーナー（大塚製薬）

・3ビズマルシェ

（3）女性が働きやすい職場環境づくり賛同企業コーナー

当市では、「日本一女性にやさしいまちの推進」を重点戦略として掲げ、市内連携企業 10 社と女性が働きやすい職場環境づくり宣言を共同発表している。連携企業の取組について周知する場を会場内に設置予定。

5 申込方法

チラシの二次元コードから、申込フォームに必要事項を記入して申し込む。

6 共催

静岡産科婦人科学会、静岡県産婦人科医会、
大塚製薬株式会社ニュートラシユーティカルズ事業部

7 協力

社会福祉法人聖隸福祉事業団、NPO 法人くすり・たべもの・からだの協議会

日時

2026

3/8 (日)

(開場) 12:30

(開演) 13:00

会場

牧之原市相良総合センター
い～ら(牧之原市須々木140)

未来へつなぐ、私たちの健康

男女の生涯健康セミナー

医療講演

13:15～
16:00

- ・男性女性の不妊や更年期
- ・プレコンセプションケア（妊娠前からの健康管理）
- ・男性女性それぞれに起こりやすい病気や、健康づくり
- ・なかなか聞けない、性と生殖についての豆知識 など



「女性の健康とプレコンセプションケア」
聖隸健康サポートセンターShizuoka
所長 鈴木 美香 先生

「男性の健康について」
～意外に知らない
男性不妊や男性更年期～
SRHクリニック
院長 今井 伸 先生

座長
あかほりクリニック
産婦人科医 赤堀 彰夫 先生

健康づくり体験コーナー(16:00～17:00)

ヨガ体験
①16:00～16:20
②16:20～16:40

講師 まるる助産院
深澤知美さん

健康チェック

- ・骨密度、血管年齢チェック（杏林堂薬局）
- ・姿勢チェック（シンコースポーツ）

協力展示等

- ・大塚製薬株式会社
- ・NPOはぴねす会
- ・健康づくり食生活
推進協議会
- ・3ビズマルシェ 等

お申込み

QRコードを読み取り、
必要事項を入力ください。



ヨガのお申込みもこちらから。詳細は市ホームページをご覧ください。

問合せ先 牧之原市健康推進課 0548-23-0024

● 共催: 静岡産科婦人科学会 / 静岡県産婦人科医会 / 牧之原市 / 大塚製薬株式会社ニュートラルティカルズ事業部

● 協力: 社会福祉法人聖隸福祉事業団 / NPO法人くすり・たべもの・からだの協議会

令和7年度 牧之原市 男（ひと）と女（ひと）のフォーラムの開催について

牧之原市女性団体連絡協議会は、市内の5団体で組織されており、毎年、牧之原市の委託事業として「男（ひと）と女（ひと）のフォーラム」を、家庭生活や地域社会の向上発展を図る目的で開催しています。

今年度は、主催の牧之原市女性団体連絡協議会からの推薦により、落語家の林家卯三郎氏をお招きし、講演していただきます。

1 開催日時

令和8年2月28日（土） 午後1時30分～午後3時（開場：午後1時）

2 会場

相良総合センター「い～ら」

3 内容

演題：～ウサブロウの動物からみるゆかいな愛情物語～

男と女 助け合い 分かち合い

講師：落語家 林家卯三郎 氏

4 対象

市内市外問わずどなたでも

5 申込方法

電話または申込フォームからの事前申込制

6 申込期限

令和8年2月18日（水）

7 参加費

無料

8 主催

牧之原市女性団体連絡協議会

令和7年度牧之原市
男(ひと)と女(ひと)のフォーラム



林家 卯三郎

落語家



「ウサブロウの動物からみるゆかいな愛情物語」
男と女 助け合い 分かち合い



令和 8 年
2月28日 土

開演 13:30 / 開場 13:00

入場無料 (事前申込制 令和8年2月18日まで)

会場 牧之原市相良総合センター い～ら

〒421-0524 牧之原市須々木140

主催 牧之原市女性団体連絡協議会

お申込み・お問い合わせ先

お電話または申込フォームにてお申込みください

📞 0548-53-2646 [平日8:15-17:00]

お問い合わせ：牧之原市女性団体連絡協議会 事務局（社会教育課）



「蛭ヶ谷の田遊び」「一幡神社の御榊神事」の開催について

1 趣旨

国指定重要無形民俗文化財の「蛭ヶ谷の田遊び」、県指定無形民俗文化財の「一幡神社の御榊神事が開催されます。

2 概要

◆ 蛭ヶ谷の田遊び

日 時：令和8年2月14日（土） 午後6時～

場 所：蛭児神社（牧之原市蛭ヶ谷1）

内 容：稻作の仕草を真似て豊作を祈願する民俗芸能。全17演目のうち、太刀や木刀を振って祭りの場を清める前半の演目（「四方切り」）と、「田打ち」「田植え」「稻刈り」など稻作の様子を再現する後半の演目に分かれる。境内に焚かれたかがり火だけを照明に、語りと所作だけで行われる。

見 所：ほた引き 午後6時30分頃～

四方切り 午後7時頃～

田打ち 午後9時頃～

四方切り「杵振り」



◆ 一幡神社の御榊神事

日 時：令和8年2月7日（土）午前8時～

2月8日（日）午前8時～

場 所：一幡神社（牧之原市菅ヶ谷3786）

内 容：御神体の状態によってその年の吉凶を占う特殊神事。二十八名と呼ばれる特定の家だけが参加できる祭りで、「御榊様」という榊や藁、餅（アラレ）などでつくった御神体を一年間祀り、古例祭のときを開いて吉凶を判断する。

見 所：7日 御本飯搗き 午前9時45分頃～

お立ち準備 午後2時頃～

8日 お立ち行列 午前9時頃～ ※高和公民館（菅ヶ谷1215-5） 出発

古例祭 午前10時頃～

御榊様作り 午後1時頃～

御本飯搗き（栄登餅）



古例祭



牧之原市・白河市「友好記念御城印セット」の販売について

牧之原市と福島県白河市は、大河ドラマ「べらぼう～鳶重栄華乃夢嘶～」(2025年・NHK)の放送を契機に、それぞれの地を治めた名君である遠州相良藩主・田沼意次侯と奥州白河藩主・松平定信公が政敵であった過去の恩讐を超えて未来志向の関係を誓い、これまで相互のイベントへの参加や災害時における応援・復興支援など、官民一体となった交流を進めている。

このたび、両市における交流の一層の深化・発展を目的に、意次侯の居城・相良城と定信公の居城・小峰城を題材とした、「友好記念御城印セット」を両市同時に販売することになった。

1 デザインについて

(台紙の表面)



(台紙の裏面)



- ・御城印は、台紙から着脱が可能
- ・城名を大きく前面に打ち出し、両藩主の肩書、名前、イラスト、家紋を背景に配置
- ・「牧之原市 白河市相協う」の文字を印刷。^{あいかな}「相協う」とは、相互に協力するという意味

- ・二次元コードから両市のホームページが閲覧可能
- ・両藩主の人物像と主な政策を紹介
- ・両市の魅力として、観光スポットや特産品を紹介

2 販売について

- (1) 期間 令和8年2月17日(火)～
- (2) 場所 牧之原市：牧之原市史料館
白河市：二ノ丸茶屋・しらかわ観光ステーション
- (3) 販売部数 牧之原市：300枚
(初回) 白河市：300枚 計 600枚
- (4) 価格 1,000円(税込)

道の駅での「波乗りレモンフェア」の開催について

1 目的

昨今の茶価低迷による荒廃農地を解消し、新たな転換作物として産地化を目指す「波乗りレモン」について、市内外からの交流拠点として今年度開駅した道の駅「そらっと牧之原」にて、以下期間においてPRを行うとともに、地域密着の企画とすることで、道の駅と波乗りレモン部会の相互連携を高め、地域活性化を推進する。

2 期間

令和8年2月7日（土）～23日（月・祝）

※令和8年2月1日（日）から販売オペレーションを兼ねてテスト販売を行います。

3 場所

道の駅「そらっと牧之原」（牧之原市坂部582番地1）

4 内容

○令和8年2月7日（土）～22日（日）（販売時間は店舗営業時間内）

「お茶の間食堂」における「波乗りレモン餃子（※）」メニュー数量限定販売

○令和8年2月7日（土）、8日（日）、21日（土）、22日（日）

午前9時～午後5時（予定） 屋外農産テントにおける「波乗りレモン」販売
(レモン、レモン緑茶、レモンティー等)

5 実施主体

波乗りレモン部会（協力：牧之原市）

※「波乗りレモン餃子」

令和7年12月に開催された「静岡県野菜マシマシ餃子レシピコンテスト」において、地元高校生が考案した「爽やかなセロリとレモン餃子」が決勝進出の好成績を収めた。これを受け、ブランド発起人であるシンコムアグリテック（株）がレシピを基に「波乗りレモン餃子」として商品化。レモンブランドの更なる認知度向上と、地元高校生考案というストーリー性を道の駅とのコラボレーションにより、強力に発信する。